学校目標『自ら気づき 考え 実行する生徒』

もいわ南麓

札幌市立藻岩中学校
学校だより No.10
令和８年 10 月 30 日
TEL 011-571-6039
https://www.moiwa-j.sapporo-c.ed.jp/

文化祭を終えて

生徒活動部　村田 昌敬

10月2日（金）、さわやかな秋晴れのもと、文化祭が開催されました。今年の文化祭は「白鳥」をテーマとして、全校生徒が様々な活動に取り組みました。

展示発表は、一人一人のアイデアや得意なことがギュッと詰まっていて、来てくれた人たちに「わかりやすく、楽しく伝えたい」という思いが、展示のすみずみにまであふれていました。装飾発表は、毎日コツコツと準備を重ねてきた努力が、見事に形となって飾られていると感じました。地道な作業をひたすら繰り返していた生徒もいました。その努力が、このようなすばらしい作品になったのだと感じ、感動しました。

一生懸命作ったのにうまくいかず、別の方法でまた作り直して。それもうまくいかず、また作り直すといったチャレンジでできあがった作品もありました。一つ一つの作品を見ると、生徒のみなさんが一生懸命作業している姿が思い出され，胸を打たれました。

ステージ発表はどの学年も「最高のステージを作ろう！」という一人一人の想いがこもった言葉や動きが、観客の心にまっすぐに届いていました。裏方のメンバーも含め、互いに支え合い、高めあう姿を感じました。とてもとてもすばらしかったです。

午後は学年合唱の発表会でした。各学年の合唱は期待を裏切らない、すばらしいできばえでした。リーダーを中心に、合唱が得意な人がみんなをひっぱり、苦手な人や歌が嫌いな人も、リーダーや仲間のために一生懸命がんばったことが、すばらしい合唱につながったのだと感じました。短い練習時間で、よくぞあそこまで仕上げたと思います。本当によく頑張ったと思います。特に最後の 3 年生の合唱「群青」は見事なものでした。転調してからのラスト。しびれました。後輩達の目標となるような立派な姿を見せてくれた 3 年生のみなさんに感謝の拍手を送りたい気持ちで一杯です。

当日は多くの保護者の皆様にご来校いただき、温かい拍手や励ましの言葉をいただきました。生徒達にとっては、その一つ一つが大きな喜びや自信につながりました。ご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

生徒配付のプリントをご覧ください。

11月の教育活動

日	曜	主な予定	給食
1	日		
2	月		○
3	火	文化の日	
4	水		○
5	木		○
6	金	放課後生徒会ボランティア② 期末テスト得点通知表配付	○
7	土		
8	日		
9	月	職員会議　完全下校 部活動休養日 給食週間(～13 日)	○
10	火	委員会・局会・全協	○
11	水	3 年学力テスト C (授業時間 55 分特別日課)	○
12	木	学校評価保護者用配信	○
13	金	PTA 役員会④	○
14	土		
15	日		
16	月		○
17	火	教育相談日①	○
18	水	3 年進路写真撮影(5 時間目) 学力 C 得点通知表配付 教育相談日② 学校評価保護者用〆切	○
19	木	教育相談日③	○
20	金	教育相談日④	○
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	教育相談日⑤	○
25	水		○
26	木		○
27	金		○
28	土		
29	日		
30	月	諸費引落日④	○

※詳細は「月行事予定」を御覧ください。

学校諸費　引き落としのお知らせ

11月30日(月)（再引落日 12/7）

は、諸費引き落とし日となっています。配付いたしました『学校徴収金納入一覧』を御確認の上、御準備お願いいたします。

※引き落とし手数料1回10円を加算して御入金下さい。

☆お願い☆

今年度も保護者用学校評価アンケートは「すぐーる」のアンケート機能を使い、実施いたします。

11 月 13 日（木）配信
18 日（火）〆切

御協力をお願いいたします。

家庭内での情報モラル ルールの作り方

ネットトラブルの実態やネットモラル向上啓発等を目的としてコラムを掲載いたします。

【「ながらスマホ」が学力に与える影響とは】

食事中、勉強中、移動中―気づけばスマホを手にしている。そんな「ながらスマホ」が、子どもたちの生活で見られることがあります。しかし、便利さの裏で、学力や集中力に悪影響を及ぼしている可能性があることをご存じでしょうか。

「ながらスマホ」とは、何か別の行動をしながらスマホを操作すること。特に勉強中の「ながらスマホ」は、脳の働きに大きな負荷をかけます。人間の脳は、複数の作業を同時にこなすのが得意ではなく、スマホの通知や動画に気を取られることで、学習内容の定着率が下がることが研究でも示されています。

また、スマホの画面は強い刺激を伴うため、読書や問題演習といった地道な学習に比べて、脳が「楽しい」と感じやすくなります。その結果、勉強への集中が続かず、「やる気が出ない」「すぐ飽きる」といった状態に陥りやすくなるのです。

保護者としてできることは、まず「ながらスマホ」の習慣を見直すこと。勉強時間はスマホを別の部屋に置く、通知をオフにする、タイマーを使って集中時間を区切るなど、環境づくりが効果的です。また、「なぜ集中できないのか」「どうすれば勉強がはかどるか」を子どもと話し合うことで、子ども自身が意識をもつようになります。

スマホは便利な道具ですが、使い方次第で学力に差が出る時代です。「ながら」ではなく「メリハリ」を意識した使い方を、家庭の中で一緒に育てていきましょう。

